



日本建設産業職員労働
組合協議会（日建協）
執行役員

大森 一真

2017年10月から
約2カ月間、ユニオン
・カレッジを受講させ
ていただきました。2
017年8月、私は総
合建設業（ゼネコン）
の産業別労働組合であ
る日本建設産業職員労

働組合協議会（日建協）
の専従役員となり、就
任後まもなく「ユニオ
ン・カレッジ」の存在
を聞き及びました。

数年間の単組本部執
行委員の経験はあった
ことから、基礎的な知
識を有している自負は

ユニオン・カレッジを 受講して

ありました。今般、
あらためて労働組合の
存在意義や今日的課題
などについて一から学
び直し、組合員に対し
より貢献できるような
知識を習得したいと思
いました。先輩方もせっ

かく参加するのであれ
ば、しっかりと知識を
身につけ、また、様々
な組織の方々と交流し
見識を広げてきなさい
と快く送り出して下さ
いました。

ユニオン・カレッジ
は、法律、経営分析、

事例研究
や対話力
の向上な

ど座学・実践と多岐に
わたっており、様々な
角度から労働組合に関
する知識を学ばせてい
ただきました。その中
でも法政大学の藤村教
授がご登壇した「労使
協議制の現状と課題」
が特に印象に残ってい

ます。労使協議と団体
交渉のあるべき姿、日
本と海外の労使コミュ
ニケーションの違い、
これからの労使関係の
あり方をご教授いただ
きました。近時、建設
産業も海外進出が多く
なっており、国による

考え方の違いによって
は、深刻な問題に発展
する可能性があること
を学び、いかに事前対
策を講じるか、また、
問題が発生した時に産
別・単組はどのように
対応すべきかを考えさ
せられました。

その他にも、法の視
点で見た労働組合、労
働法と労基法における

細かな違いなど、毎回
それぞれに魅力的かつ
有用な内容であったと
実感しております。

また、多くの方と話
す機会もあり、それぞ
れの組織が抱えている
諸課題などを意見交換
できる交流の場でもあ
りました。多くの方が
熱心に記録を取り、積
極的に質問をするな
ど、非常に充実した内
容であり、毎回、とて
も有意義な時間を過ご
すことができました。

今後は、ユニオン・
カレッジにて得た知識
・技術を生かし、多く
の諸問題に取り組んで
いきたいと思えます。